

「沖縄を世界へ！」

沖縄尚学高等学校 3年生 當山 香音

修学旅行といえば沖縄！国内旅行といえば沖縄！とたくさんの雑誌やインターネットでこのようなフレーズを目にします。沖縄には国内だけでなく海外からもたくさんの観光客が来ており、その数は年々増加しています。今の沖縄をより良い観光地にするために、これまで私が訪れた海や留学の経験から気になった沖縄について2つのことを取り上げてお話します。まず一つ目はゴミ問題の対処について、二つ目に観光地として沖縄を世界にアピールすることについてです。

沖縄といえば青い海、白い砂浜を想像すると思いますが、実際はどうでしょうか。家族や友人と行く沖縄の砂浜やテトラポットの隙間に、たくさんのペットボトルやおかしのごみなどが捨てられている光景をよく目にします。ビーチ周辺には「ポイ捨て禁止！」や「生き物たちがゴミを誤飲して死んでしまいます！」など注意を促すポスターがあるにも関わらず、大量のゴミが放置された場所が多くあります。ボランティア活動でどんなにビーチクリーン運動をしても、片付ける人たちが苦勞するだけで、実際にゴミを捨てた人たちは、何もその現状に気づいていないのかもしれませんが。沖縄を訪れる観光客がこの島に期待することの第1位が自然の美しさにも関わらず、沖縄は美しい観光地とはいえないのが現状です。そこで私は、シンガポールやヨーロッパなどのように、ゴミを捨てた人に罰金を課すことを提案します。この制度は導入するまでは実感が湧かず、すぐに意識するのは難しいと思います。実際に、シンガポールではその罰金制度が徹底されており、ゴミを捨てた人がいれば国民同士で告発しあう場合もあるそうです。世界有数の観光大国だからこそ、このような取り組みで街を綺麗に出来るのだと思います。沖縄でも海、ビーチで「来た時よりも美しく」をより徹底させる必要があると思います。県民一人ひとりの意識で、利用したらその分きちんと掃除をし、沖縄の青くて綺麗な海と白い砂浜、そして生き物たちが住みやすく、自分たちも気持ちよく使えるような海にしていくべきだと思います。それを実現するためにもルールを守れない人には課金する

ことで意識をもたせることが必要です。島全体が美しくなれば、最終的には、観光客にも美しい沖縄を喜んでもらえ、観光産業も潤うのではないのでしょうか。

私はカナダへ留学していた経験があります。そこで感じたことは、沖縄をもっと世界にアピールすべきだということです。現地の学生や他国からの留学生に「日本のどこから来たの？」と聞かれた際に、「沖縄」と言うと、誰も沖縄を知っている人がいませんでした。さらに、空手のことは知っていても、空手が沖縄が発祥の地で、沖縄の伝統文化だということを知っている人もいませんでした。世界地図で見ても沖縄は簡略化されているために、地図を指差しても海しかないのが残念でした。私はその時、沖縄は世界から見るとまだ小さな存在だと気づかされたのです。私は小学生から中学生にかけてエイサーをしていました。そして現在通っている学校でも空手の授業が必須であり、たくさんの沖縄文化を学んでいます。沖縄の素晴らしい文化を海外にもっと伝えるべきだと考えます、ネットワーク社会の現代、私が考える最も良い方法はSNSを有効活用することです。観光客のほとんどがインターネットを使って情報収集するため、ネットで沖縄の情報配信することで、沖縄に足を運んでみたい！と思わせることができると思います。沖縄の良いところをアピールすることで沖縄の存在を知ってくれる人が増えると思います。例えば You Tube などに沖縄の文化を紹介する動画を投稿したり、Facebook などを使って宣伝したりすることで世界に発信するのです。言語も英語だけでなく中国語、韓国語など世界中の言語で紹介し、どの国の人が見てもわかりやすく丁寧な紹介することができれば更に効果的です。これからの沖縄を背負っていくのは私たち若者です。素晴らしい観光地にするためにルールを整備し、ネットで沖縄をアピールすることで、世界一番行きたい場所と呼ばれるような沖縄にしたいです！